

関係各位

「みんなのバスケット、みんなでインテグリティ」

(一社) 石川県バスケットボール協会
指導者養成委員会 宮西 良岳

コーチの皆さんに質問です。
「インテグリティって何ですか？」
「インテグリティをどう高めるんですか？」
これらの質問に答えられますか？



では、質問を変えます。目の前の子供たち（選手）を想像してください。
「バスケットボールを通して、子供たち（選手）はどうなってほしいですか？」
「バスケットボールの指導を通して、あなた自身はどうなっていたいですか？」
これらの質問には、きっとたくさんの答えが出てくると思います。それこそ、石川のコーチは熱い人たちばかりで、この手の話なら寝ることも忘れるくらい語り明かせることを私は知っています。

「インテグリティ」とは、そういう「コーチングへの情熱や子供たちの成長への期待」、「バスケットボールが本来持つ魅力や素晴らしさ」を「みんな」で守り、高め合う精神のことだと私は考えています。

ここで言う「みんな」とは、競技者・指導者・審判・運営・観客（保護者）など、バスケットボールに関わる全ての方々（バスケットボールファミリー）です。

そのような「インテグリティ」を脅かす存在とは…？
指導者の問題（暴力・暴言・ハラスメント…） > プレーヤーの問題（暴力・賭博・ハラスメント…）
どちらかというと**指導者の問題が多い**のが現状です。

そこで、JBA（日本バスケットボール協会）では以下のことを宣言しています。

「クリーンバスケット、クリーンザゲーム～暴力暴言根絶～」

☆クリーンバスケット → バスケットファミリー全員で、バスケットの価値を高める。

◆（オフコートでの在り方）

□ 裁定委員会…競技会以外における違反行為に対する懲罰対象事実の調査及び事実認定

☆クリーンザゲーム → 試合に関わる全ての人で、試合の価値を高める。

◆（オンコートでの在り方）

□ 規律委員会…競技会における違反行為に対する懲罰対象事実の調査及び事実認定

□ 審判委員会…試合中の振る舞いに対して、規則に従って判定（リスペクトフォーザゲームの精神）

「インテグリティ」を守り高めることは、公式戦での試合の時にだけ適応されるものではありません。

普段の練習や練習試合、カップ戦など、日頃から「プレーヤーズセンタード」を目指したコーチングの実践をすることによって、指導者も競技者も「インテグリティの精神」が培われます。

インテグリティとは、審判が判定するテクニカルファールであると勘違いしていませんか？

審判が判定するコーチの振る舞いに対するテクニカルファールは、「インテグリティの精神」のごく一部分であり、決してその人の人格まで否定しているわけではないことを理解してください。

感情に支配されて、コーチングを忘れていた時はありませんか？

自分自身のコーチングを直視することはできますか？

最後に、「インテグリティの精神」を高めていくために、我々指導者はどうすべきなのか？
将来の石川や日本のバスケットボールを背負う子供たちのために、

コーチ自身の人間力と指導力を高め、学び続けることです。

みんなのバスケット、みんなでインテグリティを高めていきましょう。